

2023年4月11日
商工中金

中高層建築物への木造利用を進め、CO2 排出量の削減に取り組む 株式会社タカキ様をポジティブ・インパクト・ファイナンスにてサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（池袋支店）は、株式会社タカキ様（本社：東京都東大和市、代表者：高木 裕様）に対し、サステナブル経営に必要な資金 1 億円を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、木材卸、プレカット加工、住宅機器・サッシ・建材販売を手掛けています。販売先の多様なニーズに対応出来るように、設計から加工までの業務を一貫して対応できる点が特長です。環境経営にも積極的に取り組んでおり、国土交通省の補助事業である「地域型住宅グリーン化事業」を通じて、省エネルギー性能や耐久性等に優れた木造住宅・木造建築物の整備及び木造住宅の省エネ改修促進に貢献しています。

今回同社は、人材育成や非住宅の木造化推進による CO2 排出量削減等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関する KPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社 KPI 詳細は、商工中金 HP 掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【株式会社タカキ様の概要】

所在地	東京都東大和中央 1-1-5
代表者	高木 裕 様
業種	木材卸、プレカット加工、住宅機器等販売
資本金	92,743 万円
従業員数	116 名（2023 年 1 月時点）
設立	1960 年 3 月



【日高工場】

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

